

## 公民館から地域活動センターへ 市民の学びと働きを創り出そう

羽黒、櫛引、朝日、  
温海地域にも

社会教育法が施行さ  
れた1949（昭和24）  
年に設立され、65年の  
歴史を重ねてきた旧藤  
島町の公民館が3月31  
日で廃止され、4月1  
日から「地域活動セン  
ター」として新たなス  
タートを切ることにな  
りました。

1日は藤島地域の5  
つのセンターで開所式  
がおこなわれ、施設の  
看板が掛け替えられま  
した。

社会教育法に基づく  
教育施設から、市長部  
局のコミュニティセン  
ターに移管され、指定  
管理で地元の自治振興  
会に運営が委託されま  
した。

鶴岡市では今後、羽  
黒、櫛引、朝日、温海  
地域の地区公民館もコ  
ミュニティセンター化

する計画です。

共産党市議団は、「学  
校と社会教育との連携  
や住民の学習権保障に  
公的責任を果たすべき  
とコミセン化に反対し  
ました。」

### 人間発達めざす学び

施設の名称や位置づ  
けが変わり、委託で  
行政の責任が曖昧になっ  
ても、これまでの社会  
教育を継続・発展させ  
ることが大切です。

社会教育は「豊かな  
人間発達をめざす学び  
を一人ひとりがわがも  
のとすること」。

「そのいとなみの総和  
が、現実を拓く力をも  
つ人間集団をつくり、  
人間解放の歴史を築く  
社会集団を生み出す」  
（島田修一・中央大学  
名誉教授・月刊社会教  
育）2014年4月号  
巻頭）

さらに続けて、「社会

教育活動が『人間の学  
び』の原理を忘れて『安  
定的な秩序づくり』に  
奉仕する『地域づくり』

### 藤島地域の公民館の歩み



#### 渡前公民館お別れの会

渡前地区では29日、  
「渡前公民館お別れの  
会」が開かれ、町内会  
長や歴代の主事、活動  
推進員も参加して、公  
民館活動の歴史を振り  
返りました。

#### 公民館の創立

藤島公民館は昭和24  
年8月1日に旧藤島町

に動員されると、みず  
から『崩壊』の道に進  
みかねない」と警告し  
ています。  
最後に、「真の『公』  
は、参加して創造する  
『民』の働きがあつて  
こそ、実り豊かな『共』  
を生む」と結んでいま  
す。

新たな体制と意気込  
みで、現実の難局を切  
り開く「民の学びと働  
き」を創り出していき  
たいものです。

役場（現東田川文化記  
念館）東側の建物に開  
館。昭和29年12月1日  
の町村合併により藤島  
地区公民館と改称し、  
同館内に中央公民館が  
併設されました。

昭和32年に旧東田川  
郡会議事堂に移転。昭  
和44年に藤島中学校統  
合により旧藤中校舎に  
移転。昭和50年に旧藤  
中校舎跡地に藤島小学  
校改築工事着工し、昭  
和53年に中央公民館新  
築工事完成。昭和54年  
に民間主事採用（太田  
佐一氏・成澤みやこさ  
ん）。平成9年に嘱託職  
員に。

東栄公民館は昭和24  
年6月に東栄村役場西  
側の建物に開館。昭和  
28年10月に東栄小学

東側の建物に移転。町  
村合併により東栄村役  
場が第1支所となり、  
32年に公民館を移転併  
設。旧公民館は東栄保  
育園として開設。34年  
に出張所の廃止で独立  
公民館に。平成6年4  
月に東栄公民館竣工。  
長沼公民館は昭和24  
年8月27日に役場事務  
室の一角に設置され、  
町村合併により第2支  
所となり、2階を使用。  
昭和39年に合同庁舎を  
新築し農協や公民館、  
土地改良区などが入る。  
昭和54年11月に長沼公  
民館竣工。

八栄島公民館は昭和  
25年4月20日に八栄島  
小学校に設置。27年に  
小学校東側に専用施設  
を設置。町村合併によ  
り旧八栄島村役場に移  
転。昭和47年10月に八  
栄島公民館新築。平成  
16年11月30日に改築竣  
工。

渡前公民館は、昭和  
24年7月1日に渡前小  
学校内に設置。昭和30  
年1月10日に藤島町に  
編入合併され、旧役場  
庁舎は第3支所となり  
公民館も併設。同34年  
4月に出張所廃止によ  
り独立公民館。昭和44  
年7月に旧渡前中学校  
校舎に移転。平成3年  
11月に南部構造改善セ  
ンター竣工。



4月1日の藤島地区地域活動センター開所式にて

### 地域活動センター職員体制

藤島地区地域活動センター TEL 64-2119 FAX 64-2069	
自治振興会会長	相馬一廣
自治振興会副会長	安藤良昭
事務局 局長	斎藤耕紀
主事	佐藤真理子
職員	松田美帆
東栄地区地域活動センター TEL 64-2123 FAX 64-6113	
自治振興会会長	大井二千郎
事務主任	斎藤廣子
職員	阿部朋子
八栄島地区地域活動センター TEL 64-2121 FAX 64-6103	
自治振興会会長	鈴木 隆
事務局 局長	渋谷正士
主事	富樫志乃
長沼地区地域活動センター TEL 64-2122 FAX 64-6112	
自治振興会会長	斎藤忠雄
事務局 局長	小鷹昭雄
主事	斎藤由希子
渡前地区地域活動センター TEL 64-2120 FAX 64-2293	
自治振興会会長	斎藤 進
事務局 局長	板垣隆一
主事	佐藤 圭

# 来観者117人

## 鷺畑山古墳発掘写真真展に大きな関心

東田川文化記念館で、3月21〜27日まで開かれた鷺畑山古墳発掘写真真展に、酒田や鶴岡市街地からも訪れるなど、主催者の予想を越える117人が来観しました。

東田川文化記念館の協力をえて企画・解説した発掘調査会事務局の長青山崇さんは、「短時日の準備で不十分な展示なのに、こんなに

大勢の方が来観され、励まされ感謝しております。小規模な調査であつても今年も継続したい」と語っています。



### 安倍改憲許すな！藤井裕久・武村正義さんから元大臣も直言

―「しんぶん赤旗」を読んで 青山崇

藤井さんはテレビでよくお目にかかった論客、武村さんは官房長官・大蔵大臣も務めた保守本流の方々である。赤旗日曜版3月30日号一面インタビューである。「日刊スポーツ」も

取り上げ、一般紙も「彼らの声にもつと耳を傾けるべきだ」と指摘する。首相の身内のことを語っている。武村さんは、首相の父・晋太郎の安倍派に所属、晋太



しんぶん赤旗日曜版 3月30日

郎さんは、軍閥政治に反対し大政翼賛会の推薦を受けずに当選し、スジを通じた政治家だった父を誇らしげに語っていた。もう一人の祖父・岸信介さんだけを話すが、父方の祖父も語られたらと手厳しい。藤井さんは、首相の叔父と仲間、第一次安倍内閣の直前に亡くなつたが、首相の政治姿勢を心配し、市場原理主義や偏狭なナシヨナリズムと絶縁するよう頼むと手紙をくれたことを明かしている。藤井さんは、戦争は勝つても負けても一般の人々が犠牲者。戦争を絶対に繰り返しては



荘内銀行藤島支店は、現住地の藤島駅前から藤島庁舎(旧藤島町役場収入役室)に移転することを発表しました。都市計画道路の改良工事で敷地が削られるため、移転時期は6月の計画です。

ならない。だから共産党には頑張つてほしいとエールを送る。武村さんは、平和憲法は、世界からも東南アジアからも高く評価されて



### 不思議が多すぎるマレーシア飛行機事故

オリンピックに高飛び込みという種目がある。立っている所から水面に至る数秒間で、どんな捻りや回転をするかに加え、水に入る時のシブキの少ないのが得点がいいあの競技。

▼マレーシアの飛行機は、操縦士という職業柄、燃料がなくなつてもギリギリまで水平飛行に努めたと思うが、さぞや大きなパニックだったろうと思う。

▼早く場所が特定され、全容が明らかになることを期待するものですが、不思議が多すぎる事件じゃないですか。

▼第一は、マレーシア政府の発表だ。日を追う毎に少しずつ変わつてくる状況。飛行機がどっちに向かったのかや、パイロットがテロとつながつてくるトカも。▼俺が一番気に入るのは、人工衛星の記

いる。憲法が国家権力を縛るといふ立憲主義の大原則を軽々しく変えてはならないと強調する。

録が出てこないことだ。中国が早かったが、世界中のものをつなげれば場所の特定も早かるもの。それだけの数は飛んでいるぜ。

▼現に北朝鮮がナンダかブツ飛ばしたからつて、突然のものがドコまで飛んだかも分かる時代にナニシテンナダだ。

▼海の上では、どこの国の人でも助けるといふのが海の男の掟オキナだ。空や今回のような時はどこがどう対応することなんだや。大勢の命だからネー。

▼今回の事件で知ったことに、ブラックボックスに関わる通信以外に、もう2つの通信があつたということ。しかしそれが全て使用できなかつたこの事件。

▼飛行中は使用がダメなケイタイはどうなつてたのか。たつた一つのメールもなかつたのかヨの思いが、もう一つの不思議だ。(石川)